



小中合同クリーン作戦



6月19日、大津小学校、豊頃小学校、豊頃中学校合同のクリーン作戦が行われました。

豊頃小学校に集まった子どもたちは、8班に分かれて中央新町や茂岩末広町など各所で中学生を中心にごみ拾いを行いました。普段気づかないごみも、子どもたちは注意深く見つけ出して回収していました。

閉会式では各校から代表者1名が感想などを伝え合い、それぞれ「これからも町を綺麗にしていきたい」「ごみを見つけたら拾うよう心掛けたい」と話していました。また、普段あまり関わりのない学年と一緒に活動したことも、良い経験になったようです。

「十勝川のシシャモを守る会」が水質調査



6月17日、町内にある自然保護団体「十勝川のシシャモを守る会」(和田宏樹会長)が十勝川水系の河川で水質調査を行いました。今年で10回目を迎えるこの調査は、河川などの水環境へ関心を高めようとして行われており、当日は会員ら約20名が参加し、背負川など計8か所で調査を実施しました。

結果は各地点ともほぼ前年並みで、調査に参加した子どもたちは、試薬キットを使った検査に興味を示し、水が試験薬によって色が変わっていく様子を注意深く見ていました。調査終了後は、新年度の事業として河川清掃への参加などが決定され、参加した帯広市の男性は「大きな活動はできなくても、変わりなく活動を続けていきたい」と話しました。

豊頃小学校で天体観測



6月14日、豊頃小学校で天体観測教室が行われました。「木星を観測しよう!」と題し、6月では一番明るい惑星である木星を観測しました。特別講師として、帯広児童会館で天体観測を担当されている井上さんを始め4名の方を迎えて、星座の見つけ方など天体について学ぶことができました。小学校に設置された天体望遠鏡からは木星の縞模様を確認でき、子どもも大人も興奮しつつ観測していました。次回は8月23日を予定しています。



木星の縞模様を確認でき、子どもも大人も興奮しつつ観測していました。次回は8月23日を予定しています。

「花咲かじい〜じ会」がボランティア



6月13日、「花咲かじい〜じ会」(熊野幸雄会長)によるボランティア活動がこどもプラザとよころで行われました。平成27年4月に発足した当会は、60歳以上の男性のみのボランティア団体で、現在26名で活動しています。60代から80代までと年齢も幅広く、男性だからこそできるボランティア活動を中心に行っています。

今回はこどもプラザとよころ内にある垣根の剪定作業で、集まった約20人が、剪定作業が得意な会員を中心に手際よくこなしていました。同会は福祉センターや老人ホームなどの花壇整備や教育委員会で実施している「える夢キッズ」の体験学習を行なうなど積極的な活動をしています。

長節湖で地引網体験



6月20日、長節湖で大津小学校全校児童と豊頃小学校の4年生、大津保育所の子どもたちが参加し、地引き網体験学習を行いました。漁船から湖に投げ入れられた網を子どもたちが引き、網が岸まで上がってくると魚の跳ねる姿に子どもたちは歓声を上げていました。網の中には、ウグイやワカサギがはいっており、十勝地区水産技術普及指導所の職員から魚の名前や特徴などの説明を受けた後、捕獲した魚は再び子どもたちによって長節湖へ放されました。子どもたちからは「引っ張っている網が重くなって大変だった」「(魚が)ぬるぬるしてて、つかみにくかった」など感想が聞かれ、本町の基幹産業である漁業の理解を深めました。

たそがれソフトボール大会



6月19日『第23回豊頃町たそがれソフトボール大会(町ソフトボール協会、北海道新聞池田支局主催)の決勝戦が行われました。大会は6月13日から始まり、地域等で構成された全6チームが参加。上位4チームでトーナメントを行い、この日の決勝は勝ち上がった十弗体協と豊頃セントラルが対戦しました。結果、豊頃セントラルが9対6で十弗体協を破り優勝を果たしました。



試合後、表彰式が行われ、最優秀選手やファインプレー賞などの表彰が行われました。

「はるにれの木」治療開始



昨年の8月の台風による十勝川増水により被害を受けた「はるにれの木」の治療が6月13日から始まりました。

台風の被害後、樹木医から専門診断を受け、越冬した今年度から本格的な作業をすることになりました。木に負担をかけないため、5年をかけて治療していく計画です。

13日は傾倒防止のためのワイヤーによる補強や幹に影響を与えている枝の剪定をし、14日から20日まで土壌改良の作業を行いました。

今後も定期的に状況に応じた対応をしていく予定です。

恒久平和の誓い 新たに



6月13日、本町の戦没者68名を偲び、平成29年度豊頃町戦没者追悼式がえる夢館で行われました。遺族や来賓など52名が参列し、午前11時のサイレン吹鳴とともに参列者全員による黙とうが行われた後、宮口町長は「尊い犠牲の上に成り立っている平和の恩恵を深く心に刻み、報徳のおしえを大切に、より町を発展させていきたい」と式辞を述べました。また、町殉公遺族会の多田誠一会長は「恒久平和達成のため今後も一層の努力をいたして参ります」と追悼の辞を述べました。

この後、戦没者一人ひとりの写真がステージに映し出される中、参列者全員が献花しました。

▽はるにれは見ていた
広報とよころ

社協だより

役場だより

▽はるにれは見ていた
広報とよころ

社協だより

役場だより

